

**経営健全化方針に基づく取組状況（令和3年度）**

○法人名：株式会社ルネサンス棚倉

○経営健全化方針を策定した理由：

平成30年度債務超過額が171,573千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額 (千円)	135,970	208,225	262,528	0
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額 (千円)	0	0	0	0
損失補償、債務保証 及び短期貸付けの 合計額(A) (千円)	310,000	310,000	70,000	100,000
標準財政規模(B) (千円)	4,185,982	4,454,497	4,756,148	—
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—
(A)／(B) (%)	7.4	7.0	1.5	3%未満

## ○主な取組状況（令和4年6月現在）

### 【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

・社員が複数の業務をできるよう教育・研修し、少人数でも宿泊処理できるよう売上管理システムを変更、食事の際のセルフサービス化の導入などを行い、前年度比 3,733 千円のコスト削減とした。

・新型コロナウイルス感染症拡大による売上減のなか、光熱費・人件費の節減を進め、主に業務委託費の削減のため清掃業務委託業者との契約を解除し、自社スタッフで実施するため作業工程を見直して省力化する体制を作り、経費削減に取り組む。

・コロナ禍時代へ向け、これまでの紙媒体の営業から Web 広告や動画ツールを活用した営業へシフトし、DX化に取り組んだ。

### 【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

・毎月1回実施している連絡調整会議において、毎月の目標に対する実績の点検・評価や企画内容等について提案するなど助言等を行った。

・公益財団法人日本ソフトテニス連盟の拠点施設「テニスパーク棚倉」で実施される日本代表等による合宿や各種大会で、年間約 2,000 泊程度見込まれる。

## ○法人の財務状況

### （貸借対照表から）

（単位：千円）

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
資産総額	83,475	178,979	233,195
（うち現預金）	31,136	125,581	184,208
（うち売掛金）	3,710	4,695	3,412
（うち棚卸資産）	3,204	2,042	2,262
負債総額	219,446	387,204	495,723
（うち当該地方公共団体からの借入金）	80,000	120,000	140,000
純資産額	△135,970	△208,225	△262,528

### （損益計算書から）

（単位：千円）

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
売上総利益	240,148	82,023	111,148
販売費及び一般管理費	326,912	246,720	242,987
経常損益	35,788	△70,759	△54,110
当期純損益	35,603	△72,255	△54,303